

# 廃棄物管理の適正化に関する進捗状況について

2022年10月27日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

- 下記の事象が発生
  - ✓ 2021年3月 コンテナからの放射性物質の漏洩
  - ✓ 2021年7月 汚染土壌収納容器（ノッチタンク）からの溢水

- 点検等の作業が錯綜し、一時保管エリアへの瓦礫類の受入が停滞。結果、仮設集積の増加、長期化に至った（仮設集積は本来一時的なものであるため実施計画に位置づけられていない）

- このような状況を改善し、廃棄物管理の適正化を図るための計画を立案し、実行しているところ

## 計画 の概要

- **2021年度中 保管状態を確認し適切に是正【完了】**
  - コンテナ内容物確認、耐候性シート養生
  - 仮設集積場所の状態確認、是正 等
- **2022年度中 適切な場所での適切な状態維持へ移行**
  - 一時保管エリアの追設、仮設集積の最小化
  - 新たなコンテナの保守管理方法での管理 等



# 廃棄物管理の適正化

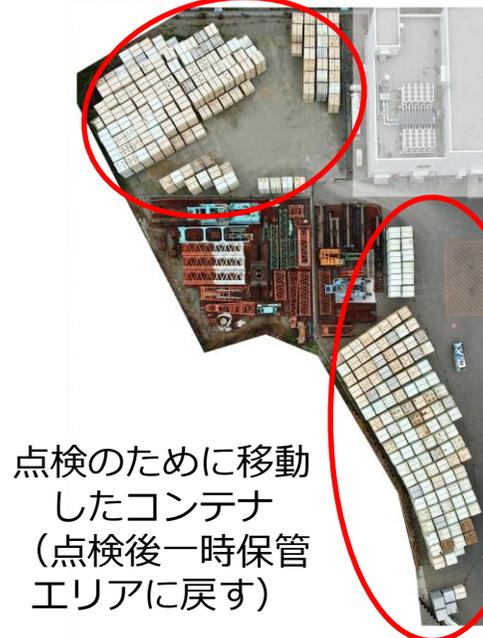
## 「適切な保管状態の確認と是正」に関する進捗状況①

- 適切な保管状態の確認、是正に向けた対策は概ね計画に従い実施し完了している
- 腐食コンテナの移し替えについては**2022年12月**完了予定

目的	実施項目	当初計画	進捗状況	現状
適正な保管状態の確保	コンテナ内容物確認	2022年3月完了	・2022年2月14日点検完了（4,011基） ⇒2月14日時点で未排水であった4基について排水実施済（2022年4月）	2022年2月 <b>完了済</b>
	コンテナシート養生	2022年3月完了	・仮設シート養生（2021年9月27日完了） ・耐候性シート養生（2022年3月28日完了）	2022年3月 <b>完了済</b>
	仮設集積管理状態確認、是正	2022年3月完了	・発電所幹部が現場確認を実施。管理状況是正の必要性を指摘し、是正が完了したことまで確認	2022年1月 <b>完了済</b>
更なるリスク低減	腐食コンテナの移し替え	2022年度上期完了	・588／646基（10/25時点、進捗率:91%） ・耐候性シートの掛け剥がしを要する等により、作業速度が想定より低下 ・点検用のバッファエリアの拡大を図り、工程遅延の最小化を図っていく ・なお、対象のコンテナは昨年度実施した点検の際に補修し、耐候性シート養生済	2022年12月 完了予定
	汚染土壌の移し替え	2022年内 目途完了	・2022年2月着手 ・2号構台PJにおいて汚染土壌を20ftハーフハイトコンテナ詰め。計76基（2022年6月28日完了） ・その後については固体庫10棟の状況を踏まえ計画	2022年度 <b>完了済</b>

- 2022年3月14日から作業開始。10月25日時点の進捗率は約91% (588/646基)
- 耐候性シートの掛け剥がしに時間を要していること等により、作業速度が想定より低下
- 点検用のバッファエリアの拡大を図り、工程遅延の最小化を図っていく
- 当該コンテナは昨年度の外観点検で発見されたもので、著しい腐食、破損箇所は補修し、耐候性シート養生済

昨年からの一時保管待ちの  
仮設集積 (解消要)  
⇒他のエリアに移動し点検  
用バッファエリアを拡大



点検のために移動  
したコンテナ  
(点検後一時保管  
エリアに戻す)



詰め替え対象あり

一時保管エリアX

搬出入口



固体庫9棟北エリア  
(仮設集積)

一時保管エリア  
W1

搬出入口



詰め替え対象あり

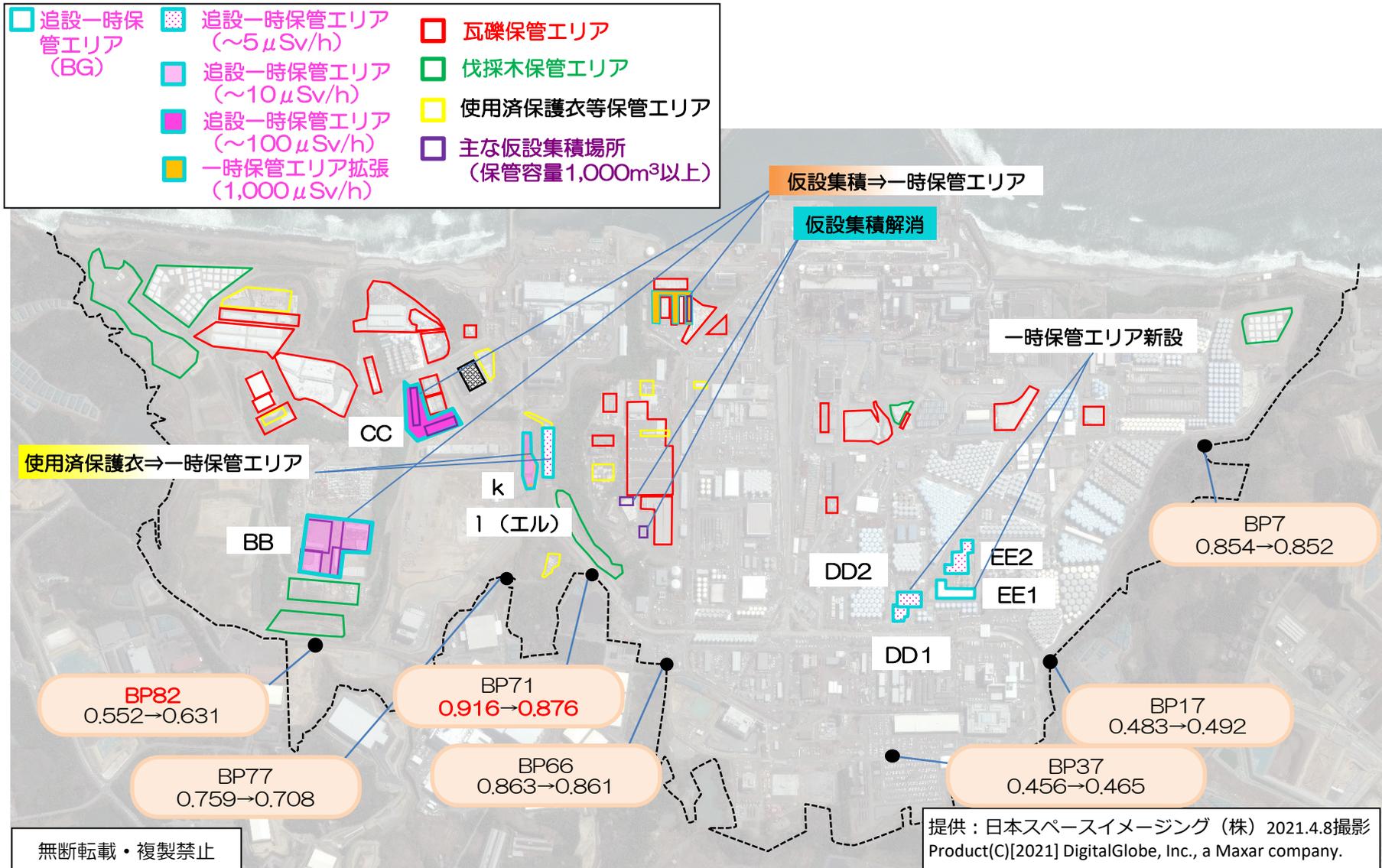
# 廃棄物管理の適正化

## 「適切な保管状態の維持への移行」に関する進捗状況②



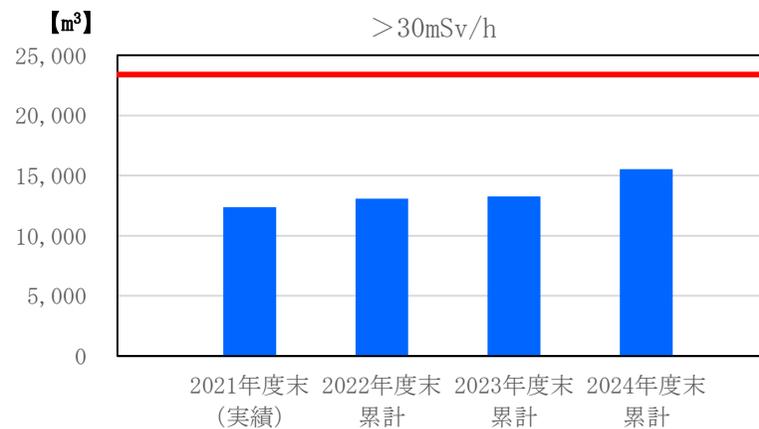
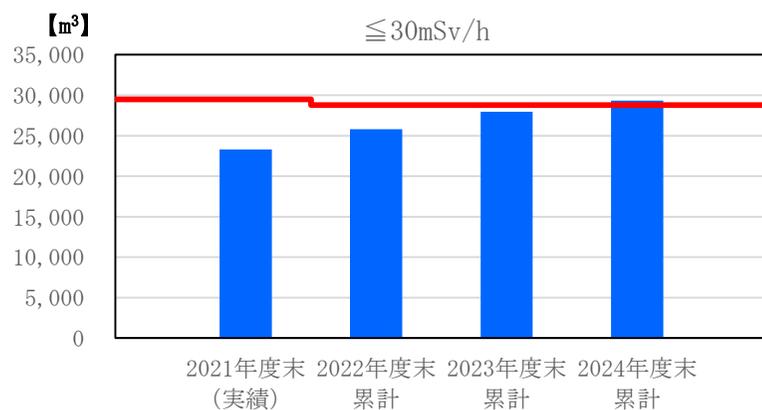
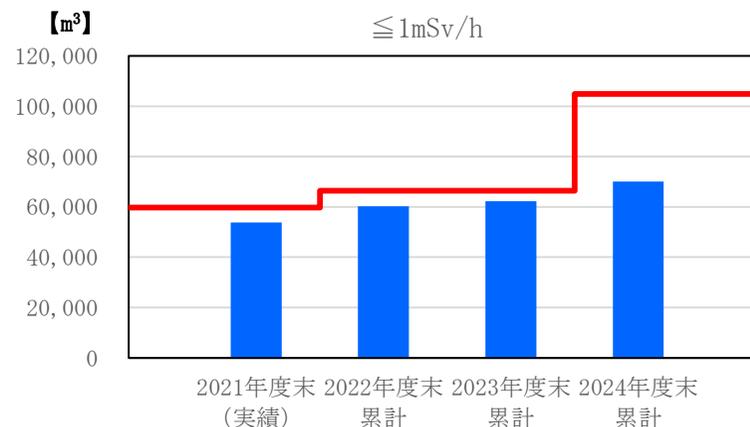
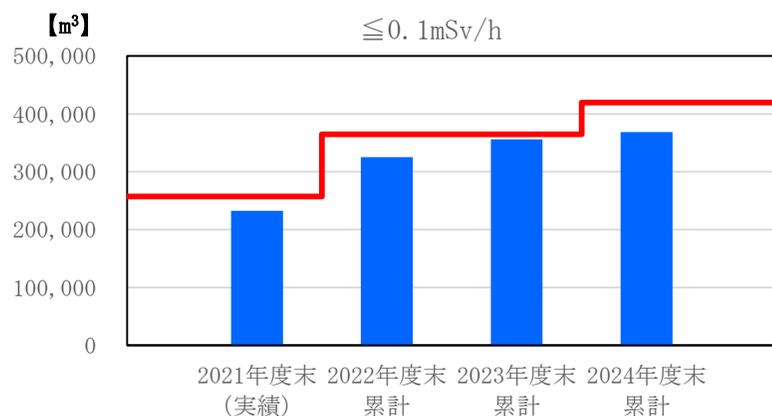
- 2022年度中に仮設集積を最小化し「適切な保管状態の維持への移行」を達成するという当初の目的は達成見込み

実施項目	当初計画	進捗状況	現在の予定
保管容量の確保（既設エリアの整理、一時保管エリア追設申請準備）	2022年3月完了	・追設する一時保管エリアの検討に時間を要したが、10月20日、実施計画変更申請を実施	2022年10月 <b>完了済</b>
高線量屋外一時保管エリアの解消	2022年9月完了	・エリアF1の高線量コンテナの詰め替え作業を実施（2022年7月完了） ・エリアE2については保管の実態を反映し最大線量切り下げを実施（上記の変更申請に合わせて実施）	2022年7月 <b>完了済</b>
コンテナ保守運用見直し	2022年4月運用開始	・長期保守管理計画の策定を3月に完了、今年度より計画に則った保守管理を実施	2022年4月 運用開始（ <b>完了済</b> ）
固体廃棄物Gの仮設集積場所への集約	2022年3月完了	・148箇所（2021年9月末）⇒43箇所（2022年3月末）まで集約完了	2022年3月 <b>完了済</b>
雑可燃物の焼却	2022年4月運用開始	・段ボールの焼却を8月から開始（現状約10m <sup>3</sup> /日） ・紙類は一時保管せず焼却する運用を開始（9月）	2022年8月 運用開始（ <b>完了済</b> ）
再利用対象の移動	2022年11月～2022年12月	・一時保管エリアの追設に合わせ、再利用対象に限定せず移動を実施	—
運用方法の見直し（ルール的一致性確認、見直し計画立案）	2021年12月完了	・巡視頻度の見直し、仮設集積場所の設置目的を明確化しガイドに記載	2022年3月 見直し <b>完了済</b>
一時保管待ち仮設集積解消（仮設集積最小化達成）	2023年3月	・一時保管待ち仮設集積の解消に向けた計画を策定し、コンテナ移動を実施中（実施計画変更認可、施行に伴い完了となる計画）	2023年3月 完了予定



# 一時保管エリアの保管容量と想定保管量について

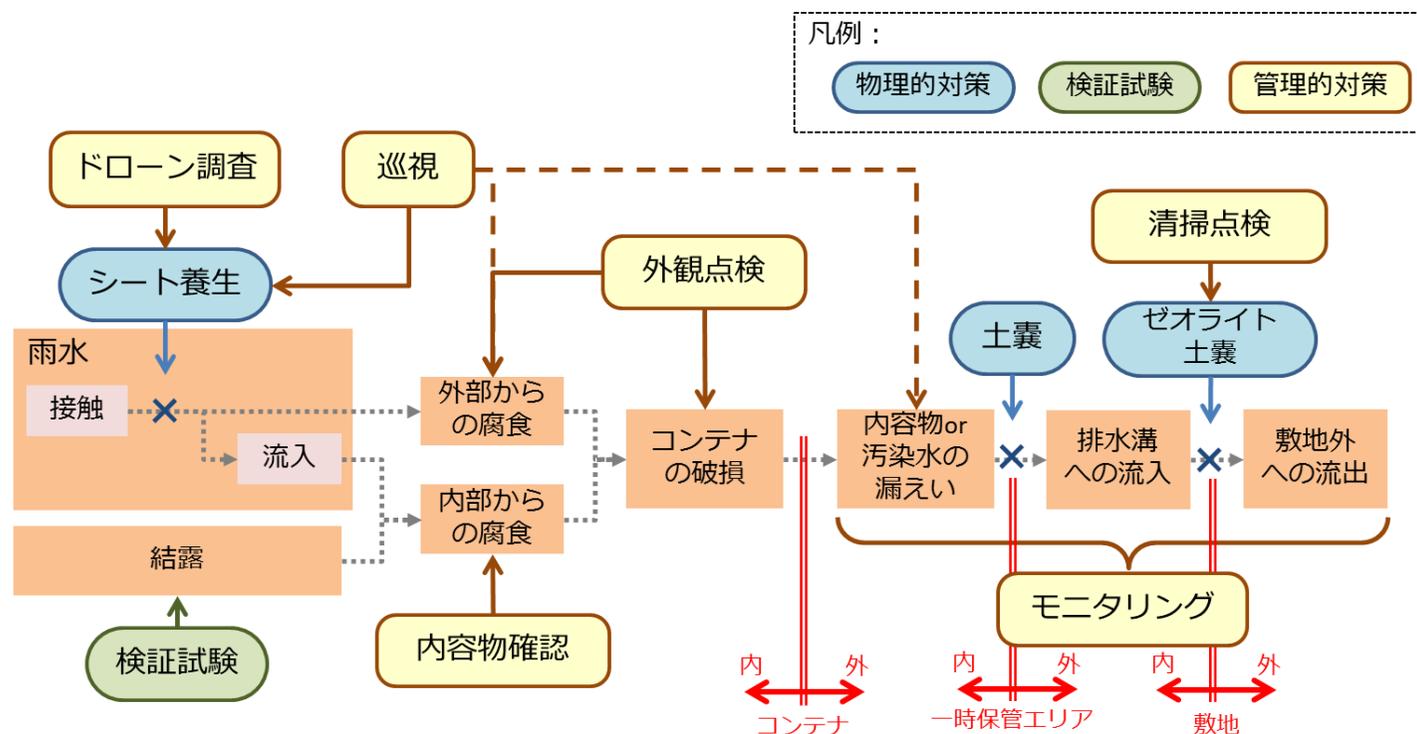
- 2024年度までの保管容量が想定保管量を上回っていることを確認
  - 2022年度の保管容量（赤線）の上昇分が今回の申請によるもの
  - 2024年度の保管容量（赤線）の上昇は固体庫第10棟の運用開始によるもの



※超過分は上位の線量区分へ移動させることで、保管容量の超過を回避

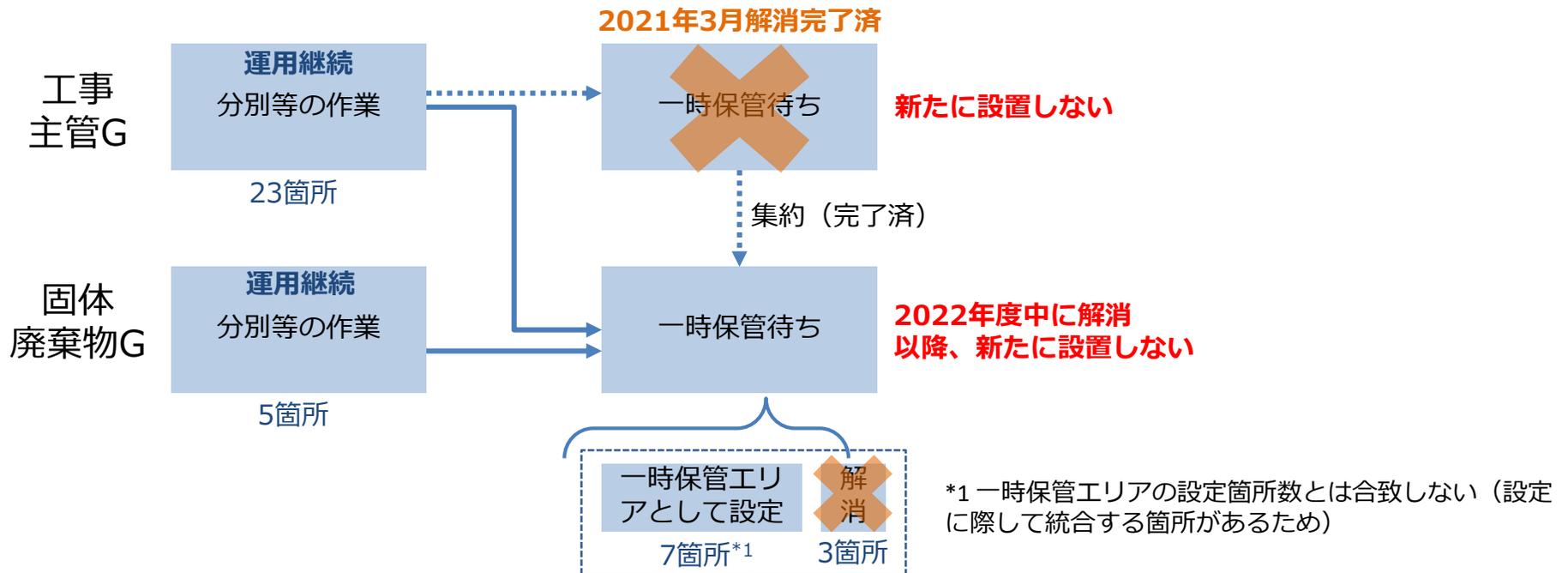
- シート養生等の対策を要する屋外保管瓦礫類(表面線量率0.1mSv/h超)を保管しているエリア※のコンテナに対し、瓦礫収納開始から3年を経過したコンテナを対象に年1回の外観点検を実施
- それに加え、巡視(1回/週)、ドローン調査(1回/3ヶ月)、万一の漏えいに備えたモニタリング等を組み合わせた総合的な管理を継続実施中

※エリアD,E1,E2,F1,P2,W1,X,m,n



## (参考) 仮設集積の運用状況と今後の計画

- 2021年度末に工事主管Gの分別や収納作業等以外の仮設集積場所の解消が完了
- 仮設集積場所の本来の設置目的である分別や収納作業等に限定して運用する旨をガイドに記載し、2022年度から運用を開始している
- 仮設集積場所を一時保管場所として設定もしくは解消することで、一時保管待ち仮設集積を2022年度中になくし、分別等の作業を目的とした仮設集積のみが運用されている状態（仮設集積が最小化された状態）を達成



2022年9月末時点の仮設集積の運用状況